

久留米大学大学院医学研究科修士課程

医科学専攻・総合生命科学・バイオ統計学専攻(総合生命科学群)・看護学専攻

問題作成の背景
近年、気候変動は健康・医療分野においても喫緊の課題として国際的に注目されており、WHO(世界保健機関)をはじめとする国際機関が、熱波・洪水・感染症媒介動物の増加など、気候変動が人々の健康に及ぼす影響について継続的に情報発信を行っている。医学研究科の大学院生には、将来的に国際的な保健医療情報や英語論文・報告書を正確に読解し、研究や臨床に活用する能力が求められる。そこで、実際に WHO が公表しているファクトシートの英文を教材として取り上げ、専門的内容を含む英文を正確に理解し、適切な日本語に翻訳する能力を問う設問を作成した。
問題作成の目的
本問題は、医学系大学院生に必要とされる英語読解力および和訳力、特に医学・公衆衛生分野に関連する英文資料を正確に理解する力を評価することを目的とする。具体的には、①専門用語や数値データを含む英文の趣旨を正確に把握する力、②原文のニュアンスを損なわずに自然な日本語に置き換える翻訳力、③気候変動と健康という国際的な保健課題に関する基礎的な知識・関心を有しているかを確認することを狙いとしている。
採点方法
1) 前期問題は5つの問を作成し、それぞれ20点とし、合計100点満点とした。60点以上を合格と判定した。 2) 1つの問の文章の中に複数の文章が含まれている場合は、文章の長さや内容の難しさでそれぞれの文章に点数を配分した。例えば1つの問に2つの文章が含まれている場合、10+10 または 9+11 点で合計20点とした。 3) 採点は減点法を採用した。1つの文章の中で、誤字や脱字を含む誤値はその程度や数によって-1 から-5点とした。日本語として不自然な場合もその程度の度合いで-1 から-5点の減点とした。単語のみの記載や日本語の文章として成立しない場合は点数をつけずに0点とした。ただし、複数の文章が含まれている場合は、それぞれの文章を独立して評価した。